

令和3年度秋田大学教育文化学部地域連携推進事業
パイロットリサーチプロジェクト
学生による調査・実験テーマの公募
(旧卒業論文テーマの公募)
公 募 要 領

1. 事業名

秋田大学教育文化学部パイロットリサーチプロジェクト学生による調査・実験テーマの公募

2. 主催と運営

秋田大学教育文化学部

3. 事業の趣旨

大学には、これまでの学内における教育・研究にとどまらず、地域教育への積極的な貢献や研究成果の地域社会への還元など、地域と一体となった教育・研究の推進が一層強く求められています。

教育文化学部は、旧教育学部から引き継いだ教員養成を核としながらも、地域や国際社会、環境関連分野で活躍できる人材の育成を目指す複合学部です。学生はもちろん、教員もそれぞれの専門分野に加えて、他の関連分野の研究内容や教員間の連携により、総合的、学際的な教育、研究活動に取り組んでおり、複雑化する地域の諸問題の解決に大きく貢献できる可能性をもちます。

そこで本事業では、秋田県内の自治体・教育委員会、民間企業、NPO 法人等との連携・協力による地域教育への貢献および研究成果の地域社会への還元を目指して調査・実験テーマを公募します。ここでの調査・実験とは、今後の事業展開のための予備調査のように、将来を見据えたパイロット的な調査・実験を想定しております。

4. 対 象

秋田県内の自治体・教育委員会、民間企業、NPO 法人等

5. 応募方法【下記(1)(2)いずれか、または両方の応募も可】

(1) 「調査・実験テーマ提案書」による応募

「調査・実験テーマ提案書」(様式1)に必要事項をご記入ください。

(2) 「秋田大学教育文化学部教員による提案について」による応募

本学部教員による提案一覧(別紙)をごらんいただき、ご賛同いただける、または関心のある場合は「秋田大学教育文化学部教員による提案について」(様式2)に必要事項をご記入ください。

提出締切：令和2年12月18日(金) 必着 ✓

送 り 先：010-8502 秋田市手形学園町1-1

秋田大学教育文化学部総務担当

「パイロットリサーチプロジェクト学生による調査・実験テーマの公募」係

6. 選考方法

「調査・実験テーマ提案書」および「本学部教員による提案について」の内容及び本学部の教員の研究分野、学生の卒業研究の希望等を総合的に勘案して選考します。選考結果については、令和3年1月末を目途にお知らせします。

※学生の希望の有無、該当分野の教員の業務事情、また研究の期間内に成果をまとめることが困難と判断された場合は、ご希望に沿えない場合があります。

※本学部教員による提案「共同研究テーマ」へご応募いただいた場合は、提案教員より直接ご連絡させていただき、当該研究テーマに係る詳細についてお打ち合わせを行っていただきますが、当該分野の教員の業務や双方の事情等により、ご希望に添えない場合があります。

7. テーマ決定後

①採択されたテーマについて、担当の教員、学生と協議していただきます。

②調査・実験は、公募年度の翌年4月より始まり、1月までに終わります。

③この事業の推進にあたっての応募団体の費用負担は原則ありませんが、内容によっては資料提供、調査・実験への協力、印刷費や学生の交通費の実費負担等をお願いすることもあります（協議時にご相談となります）。

④研究成果は調査・実験終了次第依頼先に報告し令和4年2月末に報告書としてまとめたものを作成します。

8. 留意点

①学生による調査・実験テーマの提案に当たっては、別添の「過去の採択テーマ一覧」、「過去の卒論テーマ」及び『秋田大学教育文化学部案内』をご参考にしてください。ただし、それ以外の新しいご提案もお受けいたします。また、指導教員の専門分野、研究指導可能な領域等は、秋田大学教育文化学部HPの「教員紹介」で確認できます。

秋田大学教育文化学部HP <http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/teacher/>

②「調査・実験テーマ提案書」（様式1）および「秋田大学教育文化学部教員による提案について」（様式2）は、教育文化学部ホームページからダウンロードできます。

秋田大学教育文化学部HP <http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/>

⇒ Topics&News

③採択結果は、教育文化学部のホームページに掲載します。

④調査・実験成果は、卒業論文や学术论文、学会等で発表する場合があります。

⑤この事業は主に授業や卒論において教員の指導のもと、学生中心に取り組むことを想定しております。経費の伴わない教員との共同研究のご要望も承りますが、高度な共同研究については秋田大学産学連携推進機構にご相談ください。

本学部教員による提案一覧

1. パイロットリサーチプロジェクト「授業型」

整理番号	1-①
提案者：教員名	教授 篠原 秀一
研究分野	地誌学・人文地理学
研究内容・活動など	地域の地誌学・人文地理学的研究 人文社会的地域資源の基本調査
授業名	特定地域研究ゼミ
受講学生の課程・学科・コース	地域文化学科（3年次）
調査可能な内容	人文・社会的地域資源の基本的地域調査 地域住民の生活時空間・拠点実態調査 地域組織の活動時空間・拠点調査 地域住民・組織の土地（空間）利用調査 地域の可視的景観調査
授業期間	4月～2月
想定される連携先 （自治体・団体名等）	秋田県内地方自治体あるいは地域組織
実施における条件	秋田市外への交通費

2. パイロットリサーチプロジェクト「卒業研究型」

整理番号	2-①	2-②
提案者：教員名	教授 篠原 秀一	准教授 益満 環
研究分野	地誌学・人文地理学	マーケティング
研究内容・活動など	地域の地誌学・人文地理学的研究 人文社会的地域資源の基本調査	地方自治体のシティプロモーション SNSマーケティング
受講学生の課程・学科・コース	地域文化学科（4年次）	地域文化学科 地域社会コース
調査可能な内容	人文・社会的地域資源の基本的地域調査 地域住民の生活時空間・拠点実態調査 地域組織の活動時空間・拠点調査 地域住民・組織の土地（空間）利用調査 地域の可視的景観調査	シティプロモーションの一環としてSNSを活用した地場産品や企業の魅力の発信（大仙市、横手市、宮城県登米市、宮城県商工会連合会と共同研究の経験有り。昨年度、東北地域ブランド総選挙（大学18チームによる地域産品PRバトル）で最優秀賞受賞。）。
想定される連携先 （自治体・団体名等）	秋田県内地方自治体あるいは地域組織	秋田県内の自治体、各種団体、企業
実施における条件	秋田市外への交通費	学生の人数によっては、大学の予算が足りないことが予想され、大学から調査地域までの交通費負担をお願いすることがあります。

整理番号	2-③
提案者：教員名	准教授 前原 和明
研究分野	特別支援教育、職業リハビリテーション、障害者福祉
研究内容・活動など	障害者の就労支援、障害者雇用など
受講学生の課程・学科・コース	特別支援教育コース
調査可能な内容	障害者雇用の阻害要因などの現状の課題について調査する。その上で、課題改善に向けて必要となる取組みについて検討する。
想定される連携先 （自治体・団体名等）	市町村あるいは商工会議所など
実施における条件	卒論生が了解すれば行う。

3. 共同研究テーマ

整理番号	3-①	3-②
提案者：教員名	教授 篠原 秀一	准教授 白木 智昭
研究分野	地誌学・人文地理学	経営学
研究内容・活動など	地域の地誌学・人文地理学的研究 人文社会的地域資源の基本調査	地域企業や自治体の経営分析 地域経営の研究等
専門分野	地誌学・人文地理学（水産地理学）	地域経営に関する研究
研究内容	秋田県臨海地域における水産業の地域性市町村レベルまたは集落・漁業地区レベルで水産業とその関連産業・生活文化を調査研究し、その地域性を明らかにすべく、水産業を中心とする地誌作成を試みる。	1) 地域課題に関する研究 例：秋田市の女性活躍推進に関する状況の調査と分析（2019年度パイロットリサーチプロジェクト採択） 2) 地域課題の解決に向けた官民連携に関する研究 例：地域プロスポーツによる地域活性化の可能性に関する調査や論文をまとめた
共同研究の内容	該当地域の地方自治体あるいは地域水産組織と連携し、現地調査等を通じて、水産業その関連産業・生活文化を把握し、その時代・地域を確実に記録し、人文社会的「地域資源」を明らかにするとともに、将来への展望のためにもその地域性あるいは他地域と比較対照した特徴を考察する。調査研究の成果をできるだけ地図またはGIS等で表現する。各地方自治体の担当の方には地域組織や話者の紹介、基本的な統計資料等を提供していただければ、十分である。無論、調査研究への同行も歓迎する。さらには、調査結果の考察時には、討論・相談相手になっていただければ有り難い。	次のような研究ならば可能と考えられる。 （1）各種統計やアンケート、インタビュー等による地域課題に関する現状と課題の調査 （2）地域課題解決に向けた官民連携の事例調査 （3）地域におけるイベントや祭事、観光等の経済効果分析

整理番号	3-③	3-④
提案者：教員名	准教授 前原 和明	教授 佐々木 雅子
研究分野	特別支援教育、職業リハビリテーション、障害者福祉	英語教育・英語教員養成、異文化間交流・異文化間コミュニケーション
研究内容・活動など	障害者の就労支援、障害者雇用など	英語力向上と国際理解向上の同時育成プログラムの開発
専門分野	特別支援教育、職業リハビリテーション、障害者福祉	英語教育・英語教員養成 異文化間交流・異文化間コミュニケーション
研究内容	1) 障害者雇用に向けた支援のあり方について 2) 就労支援（雇用と福祉の連携、農福連携など） 3) 特別支援教育（進路指導、移行支援を中心に）	1) 英語力向上と国際理解向上の同時育成プログラムの開発と検証 2) 国際共修による英語科教員養成 3) 絵本を媒介とするオンライン異文化間交流プログラムの開発と効果検証
共同研究の内容	例えば、以下のような研究が想定される。 1) 障害者の雇用促進に向けた認識の調査 2) 就労支援に関する支援システムの検討 3) 一般就労への移行に向けた課題分析 4) 障害者の就労に関する職務創出、など	次のような研究ならば可能と考えられる。 （1）絵本を媒介として、姉妹都市の関係を生かす国際交流の開発と検証 （2）英語力向上と国際交流を一体化した、英語授業の開発（姉妹都市、ALT、CIRとの共同も含めて） 自治体の姉妹都市関係を小中高の英語教育に活用して、児童生徒の英語力と国際理解力の同時育成を試みる。絵本とウエップ会議を媒体とすることから、図書館との連携も視野に入れられればと思う。

整理番号	3-⑤
提案者：教員名	講師 高橋 環太郎
研究分野	観光学 島嶼研究 経済地理学
研究内容・活動など	島嶼地域の観光、統計学を用いた地域分析
専門分野	観光学 経済地理学 島嶼地域の観光
研究内容	1) 統計学を用いた地域分析 島嶼地域を対象に観光に関する統計分析を行った 2) 観光学に関する教育 国内外で観光学の講義や発表を行った
共同研究の内容	次のような研究ならば可能と考えられる ・統計学的手法を用いた地域分析 ・観光に関わる調査・分析 ・観光教育の推進

秋田大学教育文化学部パイロットリサーチプロジェクト公募

学生による調査・実験テーマ提案書

貴団体等名	
連 絡 先	ふりがな 担当者名：
	部署等名：
	住 所：〒
	電話番号： (FAX:)
	E-mail：
調査・実験 テーマ	
目的等	<p>※目的, 具体的な内容等を簡潔にお書きください。</p> <p>1. 目的 (必要な理由や背景)</p> <p>2. 具体的な内容 (対象, 及び方法など)</p> <p>3. その他</p> <p>4. 対象に関して参考となる貴団体等による情報発信などがあればお書きください (Web ページがあれば URL もお書きください)。</p>
そ の 他	<p>※ご意見, ご希望等をお書きください (担当教員や学生の所属のご希望がある場合はお書きください)。</p>

・記入欄が不足する場合は, 行数を調整 (増減) してご記入ください。最大 2 頁以内に収めてください。

・令和 2 年 12 月 18 日 (金) までに, 下記宛て郵送でお申し込みください。

送り先: 010-8502 秋田市手形学園町 1-1 秋田大学教育文化学部総務担当宛

・電子データ (Word) を本学部 HP に掲載しておりますので, ご利用ください。

秋田大学教育文化学部パイロットリサーチプロジェクト公募

秋田大学教育文化学部教員による提案について

賛同する または関心 のある内容	※「本学部教員による提案一覧」の整理番号を記入してください。
貴団体等名	
連 絡 先	ふりがな 担当者名：
	部署等名：
	住 所：〒
	電話番号： (FAX:)
	E-mail：
質問・要望等	※ご自由にお書きください。

・令和2年12月18日(金)までに、下記宛て郵送でお申し込みください。

送り先：010-8502 秋田市手形学園町1-1 秋田大学教育文化学部総務担当宛

・電子データ (Word) を本学部HPに掲載しておりますので、ご利用ください。

記入例 1

(様式 1)

秋田大学教育文化学部パイロットリサーチプロジェクト公募

学生による調査・実験テーマ提案書（例：自治体）

貴団体等名	〇〇市
連絡先	<small>ふりがな しゅうだいたろう</small> 担当者名：秋大太郎
	部署等名：企画部
	住所：〒010-XXXX 秋田県〇〇市〇〇町〇番〇号
	電話番号：018-XXX-XXXX (FAX: 018-XXX-XXXX)
E-mail：shudai@pref. city. 〇〇	
調査・実験 テーマ	〇〇市の地域活性化のための食のイベント企画のニーズ調査
目的等	※目的, 具体的な内容等を簡潔にお書きください。 1. 目的 (必要な理由や背景) 少子高齢化が進む本市を活性化するために、若者に魅力ある食のイベントを企画する予定である。しかし、本市には若者が集まるようなところが少なく、多数の若者の意見をどこで聴取すべきかが課題となっている。そこで、大学生がどのような食に魅力を感じるのか、また、本市の特産物については、どのような見方をしてるかについて、調査を依頼するものである。 2. 具体的な内容 (対象, 及び方法など) 主に県外出身者、できれば留学生も対象としたい。方法についてはアンケートあるいは聞き取り調査を想定する。調査する学生が本市を事前に調査する必要がある場合には、数名であれば交通費の負担も行う用意はある。アンケート、聞き取り調査の項目については指導教員と相談のうえ、決定する。 3. その他 4. 対象に関して参考となる貴団体等による情報発信などがあればお書きください (Web ページがあれば URL もお書きください)。 本市のホームページの URL は・・・である。その中に特産物に関する情報も含まれる。また、本市にある道の駅のホームページ (URL・・・) も参考にするとよい。
その他	※ご意見, ご希望等をお書きください (担当教員や学生の所属のご希望がある場合はお書きください)。

- ・ 記入欄が不足する場合は、行数を調整 (増減) してご記入ください。最大 2 頁以内に収めてください。
- ・ 令和 2 年 12 月 18 日 (金) までに、下記宛て郵送でお申し込みください。
 送り先：010-8502 秋田市手形学園町 1-1 秋田大学教育文化学部総務担当宛
- ・ 電子データ (Word) を本学部 HP に掲載しておりますので、ご利用ください。

記入例 2

(様式 1)

秋田大学教育文化学部パイロットリサーチプロジェクト公募

学生による調査・実験テーマ提案書 (例：マーケティング)

貴団体等名	株式会社〇〇
連絡先	<small>ふりがな しゅうだいたろう</small> 担当者名：秋大太郎
	部署等名：マーケティング部
	住所：〒010-XXXX 秋田県〇〇市〇〇町〇番〇号
	電話番号：018-XXX-XXXX (FAX: 018-XXX-XXXX)
	E-mail: shudai@〇〇.com
調査・実験 テーマ	××に関する若者の志向調査
目的等	※目的, 具体的な内容等を簡潔にお書きください。 1. 目的 (必要な理由や背景) 弊社では主に××関連の商品を製造販売している。××の売り上げはここ数年下降気味であり、その原因は顧客の中心が比較的高齢者で、新しい若い顧客が少なくなっているためと考えている。そこで、弊社では××に新しい魅力を付け加えることを考えているが、そのための若い人の志向に関する情報を得たいと考えている。 2. 具体的な内容 (対象, 及び方法など) 対象は大学生から 30 歳くらいまでの人で、これまで××を食べたことがない人と考えている。××について試食してからの感想等を調査してほしい。調査内容については担当していただく教員や学生と相談で決定する。試食用の××は弊社が提供する。 3. その他 試食用の××の手配には 1 週間程度必要であるので、事前に連絡をお願いする。 4. 対象に関して参考となる貴団体等による情報発信などがあればお書きください (Web ページがあれば URL もお書きください)。 弊社のホームページの URL は・・・である。また、××の組合のページ (URL・・・) には様々な統計が記載されているので参考にしてほしい。
その他	※ご意見, ご希望等をお書きください (担当教員や学生の所属のご希望がある場合はお書きください)。

・記入欄が不足する場合は、行数を調整 (増減) してご記入ください。最大 2 頁以内に収めてください。

・令和 2 年 12 月 18 日 (金) までに、下記宛て郵送でお申し込みください。

送り先：010-8502 秋田市手形学園町 1-1 秋田大学教育文化学部総務担当宛

・電子データ (Word) を本学部 HP に掲載しておりますので、ご利用ください。

記入例 3

(様式 1)

秋田大学教育文化学部パイロットリサーチプロジェクト公募

学生による調査・実験テーマ提案書 (例：実験)

貴団体等名	株式会社〇〇
連絡先	ふりがな <small>しゅうだいたろう</small> 担当者名：秋大太郎
	部署等名：商品企画部
	住 所：〒010-XXXX 秋田県〇〇市〇〇町〇番〇号
	電話番号：018-XXX-XXXX (FAX: 018-XXX-XXXX) E-mail：shudai@〇〇.com
調査・実験 テーマ	××の性能に関する実験
目的等	※目的, 具体的な内容等を簡潔にお書きください。 1. 目的 (必要な理由や背景) 弊社の製造している××は弊社での実験で高機能であることが確かめられている。しかし、実際の使用場面でその機能が発揮できているかについては明確ではない。特に夏場における使用については様々な条件がありうるので、そのデータを集めて分析し、商品改善につなげたい。 2. 具体的な内容 (対象, 及び方法など) 5人程度に夏非常に暑い時期に1週間、カバンに入れて持ち運びしてもらう。詳細な温度については昼間1時間に一回測定し、1週間後の××の状態を計測する。××は弊社が用意する。実験の詳細については指導教員と相談のうえ、決定する。 (注意：被検者ではなく、学生がデータを取得し、分析できるようにお願いします) 3. その他 必要ならば計測器は弊社において使用できる。 4. 対象に関して参考となる貴団体等による情報発信などがあればお書きください (Web ページがあれば URL もお書きください)。 弊社のホームページの URL は・・・である。そこに××の仕様についての記載がある。
その他	※ご意見, ご希望等をお書きください (担当教員や学生の所属のご希望がある場合はお書きください)。

- ・記入欄が不足する場合は、行数を調整 (増減) してご記入ください。最大 2 頁以内に収めてください。
- ・令和 2 年 12 月 18 日 (金) までに、下記宛て郵送でお申し込みください。
 送り先：010-8502 秋田市手形学園町 1-1 秋田大学教育文化学部総務担当宛
- ・電子データ (Word) を本学部 HP に掲載しておりますので、ご利用ください。

過去の採択テーマと卒論テーマ一覧(平成26～令和2年度)

年度	採択テーマ	自治体	担当教員	卒論テーマ (☆は授業対応、※は調査)
平成26年度	秋田県県南内陸地域の仕事着について	大仙市教育委員会	石黒 純一	「秋田県内外地域の仕事着について」
	藤里町における最適な地域情報基盤の社会地理学的研究	藤里町 (総務課企画財政係)	篠原 秀一	「秋田県藤里町における住民間の地域情報共有の現状とその適切な形態」
	ICTを利用した市民・自治体の協働による地域問題解決モデルの可能性について	秋田市 (総務部総務課)	林 良雄	「ICTを利用した市民・自治体の協働による地域問題解決モデルの可能性について」
	成人期(若者)における消費者教育の在り方	秋田県 (生活環境部県民生活課)	佐々木 信子	「青少年の生活課題を踏まえた消費者教育の在り方についてー中学校技術・家庭科における効果的な指導法ー」
平成27年度	人口減少対策に関する現状と課題	秋田市 (企画財政部企画調整課)	篠原 秀一	☆ 人口減少対策に関する現状と課題
	高齢者の地域でのボランティア活動を通じた社会参加に関する現状と課題	秋田市 (福祉保健部長寿福祉課)	篠原 秀一	☆ 高齢者の地域でのボランティア活動を通じた社会参加に関する現状と課題
平成28年度	高校生の地域活動がもたらす地元定着意識及び地域活性化効果について	湯沢市 (総務部企画課企画政策班)	西川 竜二	「地方都市における高校生の地域活動への参加が居住地選択の意向に与える影響ー秋田県湯沢市を対象としてー」
			佐々木 信子	「地域活動がもたらす高校生の意識変容についてー社会参画意識をたかめる地域活動ー」
平成29年度	県内観光地間の周遊の現状と課題について	秋田県 (観光文化スポーツ部観光戦略課戦略企画班)	上田 晴彦	「秋田県観光統計」の分析から見える秋田県内の観光地の現状と課題について」
	子どもの貧困対策推進のための子どもの居場所づくりについて	秋田市 (子ども未来部子ども総務課)	佐々木 信子	「子どもの貧困と居場所づくりー秋田市の児童館における調査からー」
			荒井 壮一	「子どもの貧困対策ー子ども自身にニーズを把握するためにー」
	自治体における効果的な情報発信の在り方	能代市 (企画部地域情報課)	林 良雄	「自治体のSNSを利用した情報発信の課題ー能代市を中心としてー」
	地域の子育て支援施設としてのこれからの多機能型児童センターのあり方を探る ～子ども・親の居場所づくりの拠点に～	横手市 (健康福祉部子育て支援課子ども育成係)	佐々木信子	「地域の多機能型子育て支援施設のあり方ー横手市次長センターの事例を通してー」
	秋田県の国際化と地域創生について	秋田県 (企画振興部国際課)	高村 竜平	「地域の国際課と活性化を考える」
			萩原 史朗	☆ 秋田の地方創生と官民連携
	減少する消防団員の確保対策	秋田市 (秋田市消防本部)	石沢 真貴	☆ 秋田市における消防団員に関する研究ー住民及び大学生に対する意識調査をもとにー
川連漆器の文化、歴史と価値観の変化に伴う新しい活用方法の提案	湯沢市 (産業振興部まるごと売る課産業振興班)	石沢 真貴	☆ 川連漆器産業の動向からみる現状と課題	
平成30年度	日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)を踏まえた地域コミュニティの維持・活性化方策の検討について	秋田県 (あきた未来創造部あきた未来戦略課)	篠原 秀一	「秋田県における企業の廃校利用を通じた地域活性化方策に関する研究(仮)」
令和元年度 (平成31年度)	県内DMO法人の比較研究	秋田県山本地域振興局 (総務企画部地域企画課)	臼木 智昭	DMOによる地方創生の可能性についてー秋田県の事例ー
	災害時の外国人支援のために必要な外国人のニーズ調査	秋田県 (企画振興部国際課)	高村 竜平	☆ 災害時の外国人支援のために必要な外国人のニーズ調査【特定地域研究ゼミ】
	秋田市の女性の活躍推進に関する状況の調査と分析	秋田市 (市民生活部生活総務課)	臼木 智昭	※ 秋田市の女性の活躍推進に関する状況の調査と分析
	500歳野球大会がもたらす中・高齢者の健康増進効果について	大仙市教育委員会 (生涯学習部スポーツ振興課)	伊藤 恵造	☆ 500歳野球大会がもたらす中・高齢者の健康増進効果について【教育実践ゼミナールF4】
集落の機能や暮らしを維持・活性化するための活動提言～住み慣れた地域で暮らし続けるために～	秋田県 (あきた未来創造部活力ある集落づくり支援室)	篠原 秀一	☆ 集落の機能や暮らしを維持・活性化するための活動提言～住み慣れた地域で暮らし続けるために～【特定地域研究ゼミ】	
令和2年度	由利本荘市岩城地域における文化的体験機会の現状と創出について	由利本荘市教育委員会 (総務教育学習課)	篠原 秀一	☆ 由利本荘市岩城地域における文化的体験機会の現状と創出について【特定地域研究ゼミ】
	学生による大仙市の魅力発見	大仙市 (企画部広報広聴課)	益満 環	☆ 発酵文化による大仙市の魅力の掘り起こし【プレゼミ】

